

(工学部・工学研究科)

公益財団法人橋谷奨学会2023年度奨学生の募集

2022.12.7

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- ① インドネシア共和国籍で、2023 年4月 1 日現在、工学部・工学研究科に在籍の私費外国人留学生(在留資格「留学」)
- ② インドネシア共和国大使館に来日の報告をしている者(領事館のみの届出は不可)
- ③ 年 2 回のオンライン交流会、年 1 回の懇親会に参加できる者
- ④ 奨学金受給終了後も財団と連絡がとれる者
- ⑤ 他から奨学金の支給を受けない者
- ⑥ 日本語でのコミュニケーションが可能者(JLPT N2以上を取得している者)
- ⑦ 面接時点(3 月 18 日予定)に確実に日本に滞在している者

Those who have JLPT N2 or above is required to apply.

2 支給額及び支給期間

月額:10万円

支給期間:支給開始月から、当該在籍課程を卒業・修了するまで

※ 正規の修学年数のみ。但し、年度末毎に継続のための審査あり。

3 提出書類

- | | |
|---|--|
| ① 申請書(所定用紙) | ② 履歴・身上書(所定用紙) |
| ※ 経済状況の収支は 2022 年 12 月現在で正確に記入し、またバランスを意図的に取らないこと。 | |
| ※ ①、②、については、 <u>大学からの推薦が決まった場合、財団指定の原本に再度記入していただくこととなります。</u> | |
| ③ 在学証明書または入学許可証明書 | ④ 成績証明書(学部以降、直近のものまで) |
| | ※ 別添の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した値を鉛筆書きで記入すること。 |
| ⑤ 作文「日本留学にける私の期待と決意」 | ⑥ 写真 2 枚(5x4cm) |
| ※ A4用紙縦型・横書き・1000字以内・日本語自筆 | ※ 申請書に貼付は不要、半年以内に撮影したもの |
| ※ 1 行目に課題、2 行目に学校名、3 行に氏名を記入 | ※ <u>推薦が決まったら提出</u> |
| ⑦ 在留カードの写し(両面)または住民票の写し | ⑨ 健康診断証明書(半年以内に受診したもの) |
| ⑧ 日本語能力試験(N2 以上)を証明する証書の写し | ※ 学内健診の場合、「定期健康診断結果報告書」は不可。必ず「健康診断証明書」を提出。 |
| | ※ <u>推薦が決まったら提出</u> |
| ⑩ 経済状況調書(2023 年1月現在で作成) | |
| ⑪ 身上調書(所定用紙、2022 年 10 月以降に提出済の場合は不要) | |
| ⑫ 家計状況申告書(所定用紙、2022 年 10 月以降に提出済の場合は不要) | |
| ⑬ 推薦書(指導教員が作成、 <u>推薦が決まった場合、所定用紙を配布します。</u>) | |

4 募集人数:工学部・工学研究科で 1 名

5 申請書類の提出先: 工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切: 2023 年 1 月 12 日(木)

2023 年に他奨学金について受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外です。
総長特別奨学生でも応募は可能ですが、採用された場合は受給期間中の授業料免除申請はできません。

公益財団法人 橋 谷 奨 学 会

2023年度奨学生募集要項

趣旨：公益財団法人橋谷奨学会は、日本とインドネシア共和国との教育・学術・文化の発展及び相互理解を促進するため、日本の大学等で勉学中のインドネシア共和国籍の留学生に対して援助を行い、もって友好親善の増進に寄与することを目的とした事業を行っています。

2023年度の奨学生募集を次の要領で行います。

1.応募資格

次の①～⑥の全てに該当する必要があります。

- ① 専門学校(ただし、1年以上の専門課程とする)、大学または大学院(研究生含む)に在学または入学を許可された私費留学生。
- ② **インドネシア共和国籍**を有し、修学または研究のため **student visa** で来日している者。
- ③ インドネシア共和国大使館に来日の報告をしている者。(領事館のみの届出は不可とします。)
- ④ 日本政府等、他財団から奨学金を受けていない者。
- ⑤ **日本語でコミュニケーションがとれる方(日本語能力試験N2以上を取得している方。)**
- ⑥ **年2回のオンライン交流会、年1回の「橋谷奨学生文化交流懇親会」に参加できる者。**
- ⑦ 奨学金支給終了後も当会との通信等を継続する意志のある者。

2.奨学金支給要件

- ① 2023年度の新規採用奨学生数は、若干名とします。
- ② 奨学金は、月額10万円とします。ただし、応募諸状況を勘案し、正規の奨学金額を変更して採用する場合もあります。奨学金は原則として返還する必要はありません。
- ③ 奨学金は、在籍学校を通じて支給します。
- ④ 奨学金の支給期間は、2023年4月から学校を卒業・修了するまでとします。
ただし、年度末毎の審査に合格しなければ継続支給はされません。(5の③参照)
- ⑤ 次のような場合は奨学金の支給を停止します。
ア、留年あるいは、学業成績が著しく不良または長期欠席等のとき
イ、素行不良のとき。
ウ、転学をしたとき。
エ、当会へ虚偽の申告をしたり、当会の定めに従わなかったとき。

3.応募方法

- ① 応募者は次の書類を作成または添付して**在籍学校事務局へ提出**してください。
ア、申請書・写真2枚(上半身近影5×4cm、申請書に1枚貼付のこ。
イ、履歴・身上書
ウ、推薦書
エ、在学証明書または入学許可証明書
オ、成績証明書(現課程または前課程のもの)
カ、住民票または在留カードのコピー(国籍・在留資格・在留期間が明記されているもの)
キ、作文(「日本留学にける私の期待と決意」をテーマとする1,000字以内、日本語で本人自筆のもの)
ク、**日本語能力試験(N2)以上を証明する証書のコピー**
ケ、健康診断結果(学内で実施した健康診断結果のコピー)
※写真と健康診断結果は、半年以内の撮影または受診結果を提出してください。

- ② 学内へ切日は、在学大学・学校にお問い合わせください。

(当会への応募へ切日 2023年1月27日必着)※2022年度より変更になっております。

4.選 考

- ① 第一次選考 :在籍学校の担当教官等が選考を行ってください。
※当会への推薦は、各学校から、**継続推薦を含め1名以内**といたします。
- ② 書 類 選 考 :応募書類を元に選考を行い、結果は学校を通じて**2月中旬**までに書面で通知します。
面 接 :**面接試験を2023年2月下旬～3月上旬に予定しております。**
通 知 :最終選考結果は、学校を通じて、**3月下旬**までに書面で通知します。

5.そ の 他

- ① 応募申込書類は必ず「**大学・学校事務局**」から受け取ってください(大学等に応募書類が到着していない時は、大学等から当会へ請求してください)。書類選考への**応募は大学・学校事務局経由**としてください。
- ② 書類選考に応募のあった書類は一切返却しません。
- ③ 奨学金継続受給(進級者のみ)を希望する者は、担当教官等の推薦を受け、推薦書(当会様式)を、学校経由で当会へ提出していただきます。(毎年1月～2月ころ)
- ④ 奨学生は、毎年度末と奨学金支給終了時に、学習報告書(当会様式)を当会事務局へ必ず提出してください。
- ⑤ 申請書に記載された内容および提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として取扱われます。ただし、書類審査及び選考のため、選考委員は閲覧いたしますのでご了承ください。

6.問い合わせ先

在学大学・学校 担当窓口

公益財団法人 橋 谷 奨 学 会
Hashiya Scholarship Foundation

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西3-17
TEL 03(3689)1120
FAX 03(3689)3120
E-mail: hashiya-scholarship@tsukishima.co.jp

2022年 11 月 14 日

関係大学・学校
事務ご担当者殿

公益財団法人 橋谷奨学会
事務局

《2023年度》奨学金応募等に関する細目

応募手続については、以下の各事項を参考にいただき、学生へのご指導をお願い致します。

1. 応募資格

インドネシア共和国籍の留学生に限定します。

2. 当会への応募締切

2023年1月27日(金)までに、当会に到着したものを有効とします。
学内締切日は、各大学・学校でお決めください。

3. 選考

イ. 第一次選考は、ご担当教官・教員に試問をお願い致します。

ロ. 試問事項は以下をご参考に願います。

- a. 勉強に必要な語学力は、充分か。
- b. 選択した学科、研究は適切か。継続し得るか。（新入生は省略）
- c. 選択した学科、研究に対する考えは、妥当か。（新入生のみ）
- d. 応募資格に適合しているか。

ハ. 第一次選考合格として当会にご推薦いただいた場合、当会書類選考においては前項b・cは合格と判断し、選考基準からは除外させていただきます。

二. 面接日時は書類選考の合格者のみご連絡をいたします。費用につきましては当会にて負担いたします。

4. 履歴・身上書の記入方法について

イ. 在日保証人は、日本で生計を立てている成人とすること。

ロ. 経済状況の収支は2022年11月現在で記入のこと。

ハ. 収支は正確に、またバランスを意図的にとらないこと。
過去に支出超過のため架空の収入を設けて収支差を0としたり、
収入が多いので架空の支出を計上した例があります。
(何れも不採用と致しました。)

二. 科目内容

- a. 仕送り額：母国の父兄等、あるいは在日の親類・知人等から学費生活費を目的として、定期あるいは不定期に支給される金額。
- b. アルバイト等給与：自ら働いて得るアルバイト、その他の給与額。
- c. 奨学金：国、財団その他の団体又は個人から奨学を目的として支給される金額。
- d. 住居費：自らの居住のために支払う家賃、共益費等の金額。
- e. 食費等生活費：食費、光熱費、水道料、衣料費等の自らの生活に要する費用。
- f. 授業料：応募時の学年度の授業料。
- g. その他の学費：授業以外の実験費、研究費、施設設備費、学友会費等で大学・学校又は大学・学校に関連する団体へ納入する費用。
- h. その他の教育費：参考書等の勉学に必要な費用のうち大学・学校団体へ納入する費用。

5. 作文の様式は、A4版縦型、横書きとします。

1行目に課題、2行目学校名、3行目に氏名を書いてください。

6. 健康診断は、受診から半年以内の結果が反映されているものを提出してください。学内の健康診断結果でも結構です。

7. 応募書類

書類は、すべて原本でご応募願います。申請書、その他の当会様式をコピーを使用しての応募は受理しませんので、よろしくお願い致します。

尚、応募書類不足の際は、お送り致しますのでご一報ください。

(3)

経 済 状 況	収 入	科 目		年 間 収 支 額	平均月間収支額
		仕 送 り 額		円	円
		アルバイト等給料			
		貯金から引き出し			
		他の団体からの奨学金			
		配偶者の収入			
		そ の 他			
	収 入 計		①	③	
	支 出	生 活 費	住居費(家賃)		
			食費等生活費		
			生活費計		
		教 育 費	授 業 料		
			そ の 他 の 学 費		
			その他の教育費 (参考書等)		
			教育費計		
支 出 計		②	④		
収 支 差 額		①-②	③-④		
奨 学 金 状 況	1. 現在奨学金を受けている (団体名) (月 額) 円 2. 他の奨学団体に申し込みをしている (団体名) 3. 申し込みも、奨学金も受けていない				
今 年 度 奨 学 金 を 必 要 と す る 理 由					

年度奨学金受給申請書

公益財団法人 橋 谷 奨 学 会

理事長 殿

私は 年度貴会奨学生募集要項の内容をよく理解し、貴奨学生として採用して頂きたく、必要書類を添えて申請致します。
申請書及び添付書類等の記載内容は事実と相違ありません。

年 月 日

申請者 氏 名 _____
(自国語名・ローマ字)
署 名 _____
現住所 _____

上記の者の身元は私は引き受け、貴奨学会の趣意に反しないよう指導致します。

(ふりがな)
在日保証人 氏 名 _____ 年令

住 所 _____

電話 _____

職 業 _____

本人との関係 _____

履 歴 ・ 身 上 書 (本人自筆のこと)

(1)年 月 日現在

氏 名	発音 (カタカナ) _____					写 真 (1) (5cm×4cm) 上半身の近影を はがれないよう に貼付	
	自国語表記 (ローマ字又は漢字) _____						
英文表記 (ローマ字) _____ , _____ , _____ First name Family name Middle name (パスポートに記載されている通りに記入すること。)							
生 年 月 日	年 (満	月 才	日生 月)	性 別	※ 男・女		
国 籍							
現 住 所	フリガナ 〒 _____						
	方・荘・マンション 電話 ()						
在 学 校	名称・学部・学科・学年 年在学 (年 月入学)						
	住所 〒 _____ 電話 ()						
	(指導教官・教員)		(研究室・講座名)				
学 歴	教育機関の 種 類	学校名及び所在地(都市名のみ)			正規の 修 学 年 数	入学及び 卒業年月	専攻科目及学位等
	高 校	学校名 所在地			年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学	学校名 所在地			年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学 院	学校名 所在地			年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻 学位
		学校名 所在地			年	入学 年 月 卒業 年 月	
	日本語学校	学校名 所在地			年	入学 年 月 卒業 年 月	

職 歴	勤 務 先	所在地(都市名)	勤 務 内 容		勤務期間	
					年 月から 年 月まで	
					年 月から 年 月まで	
					年 月から 年 月まで	
家 族 状 況	氏 名 (ローマ字又は漢字)		続 柄	年令	職 業	在日 同居
			父			
			母			
			夫又は妻			
母 連 国 絡 へ の 先	氏名 (ローマ字で表記、フリガナをつけること)		年令	職業	本人との関係	
	住所		電話			
住 居 状 況	種 別	※ 寮、アパート、自己(家族・知人)所有住宅、その他 ()				
	形 態	※ 単独、同居 (人) ◎本人は同居人数に含まない。				
	広 さ	居室、 室、1人当たりの専有面積 m ² 又は 畳				

- 記入上の注意
1. 黒インク又は黒のボールペンで記入すること。

2. 日本語で記入すること。

3. 記入は楷書又はローマ字活字体とすること。

4. 数字は算用数字を用いること。

5. 固有名詞は正確に記入すること。

6. 年号はすべて西暦とする。

7. ※欄は○で選択すること。

8. 日本で一緒に生活している家族がいる時は、
家族状況・在日同居欄に○をつけること。

9. 経済状況は事実を正確に記入すること。

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）

+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0）

総登録単位数

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2022年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 学部研究生 MC 年 DC 年 大学院研究生	学籍番号			
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ~ 現在			
		年 月 ~ 年 月			
		年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*2022年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学部研究生	学籍番号
	MC 年 DC 年	大学院研究生	
氏 名			

家計状況

* 2021年10月から2022年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2022年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2021年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった